



# 学校だより

横浜市立矢上小学校  
発行日 令和5年5月31日

☺手をつなぎ 笑顔いっぱい 矢上っ子☺

6月号

## 「B棟ベランダの横断幕」

副校長 渡邊 将道



50周年記念事業の一環として作成されたもので、4月に本校に赴任してから、毎日のように眺めています。学校教育目標である「手をつなぎ 笑顔いっぱい 矢上っ子」はシンプルで覚えやすいので、とても気に入っています。横断幕だけでなく、紙面や話の中でも、学校教育目標に触れる機会も多く、出会って2か月ですが、すでに愛着もわいています。愛着がわくと作成当時の児童や教職員の思いを想像し、自分なりに解釈して理解を深めようとしてしまうものです。

例えば、「手をつなぎ」の部分は、「友だちと関わりながら、様々なことにチャレンジしたい。」とか、「人との関わりの中で自分の世界を広げてほしい。」の思いが込められているのかな。「笑顔いっぱい」の部分は、「楽しい学校生活を送りたい。」はもちろんのこと、「自分の力をいっぱいに出して、未来の笑顔のために頑張ってもらいたい。」とかも考えられるな・・・等々、自分勝手に想像しています。他にも、本校の歴史に触れる機会も多くあり、豊かな学びのために、これまで多くの教職員、保護者、地域が様々な形で関わり、協力して学校を作ってきたことも知り、「矢上っ子」への思いの深さも感じている日々です。

過去に思いを巡らせながら、教室を覗いてみれば、友達と一緒に楽しそうに勉強する姿、算数の問題をクラスのみんで解決法を話し合っている姿、クラスで声を合わせて元気いっぱいに音読をする姿、タブレットを使って自分のペースで黙々と課題に取り組む姿があります。

中休みの校庭を見れば、汗だくになりながら、元気いっぱいに走り回っている姿、決して広いとは言えないスペースを上手にゆずり合いながら遊ぶ姿、担任も加わってのドッジボールを笑顔いっぱいに楽しんでいる姿が見られます。

登校班や縦割り活動では、当たり前のように上級生が下級生を助けている姿、それがよい手本となり、下級生への思いやりの広がりを感じる場面が多く見られます。

地域コーディネーター・卒業生保護者・図書ボランティア等、多くの地域の力が様々な形で学校の活動を支援してくれています。登下校でも、校外委員の方々と一緒に多くの保護者や地域の方々が見守りをしています。

今日のこの瞬間も生き生きと活動をする子どもたち。それを支える教職員、保護者、地域の方々。

「手をつなぎ 笑顔いっぱい 矢上っ子」～ つなぐ つながる つなげる ～

50年の歴史を感じつつ、矢上小学校の「今」の頑張りの笑顔、優しさや思いやりを大切に、歴史をつないでいきたいと思えます。

\*\*\*\*\*  
【学校の様子をホームページにてお知らせしています】  
各学年の活動や学校からのお知らせを掲載しています。ぜひご覧ください。  
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yagami/>



↑QRコード↑